

## 中日新聞販売店が考える地域創生

中日新聞販売店の配達ネットワークを活かした  
高齢社会に対応する新サービス



ちょこっと  
まごころサポートと  
むすびさぽーとCLUB



スーパー・マーケット+新聞販売店とのコラボで  
持続可能な地域社会をつくる  
(産・官・学連携で生まれる地域支援プラットホーム)

中日新聞多治見販売店会  
ICTでむすぶまちづくり研究所

 むすびgroup  
むすびdesign

# 中日新聞販売店の配達ネットワークを活かした 高齢社会に対応する新サービス



ちょこっと

まごころ サポートと  
むすびさぽーとCLUB



『あつたら』 いいな

お困りごとを気軽に相談できる

身近な窓口

コミュニティ  
形成の場

アイデアを生みだす  
ファーストアプローチ

日々の生活の「お困りごと」  
だれに相談して良いか？分らない皆さんが多いから



中日新聞販売店



むすびさぽーと  
CLUB



お困りごとの  
「地産地消」で  
地域内で  
経済が回る仕組み

地域内の「お困りごと」を  
中日新聞販売店に  
集めます

新聞販売店ができない困りごとを  
地元の関係者と連携して  
バックアップします



ちょこっと  
まごころ サポートと  
むすびさぽーとCLUB

**中日新聞販売店による  
読者の安否確認サービスが進化**

**み・まも～る + プラス**

日々の生活の「お困りごと」開  
ご相談窓口設  
高齢社会生活支援サービス  
ちょこっと  
「まごころサポート」

**を始めました!!**

**み・まも～るとは**  
中日新聞が提供する無料の読者安否確認サービス  
中日新聞では、「毎日、配達する新聞がポストから抜かれているか」で、  
ご家族の安否を確認する無料サービスを行っております。見守って  
ほしいご家族等が中日新聞をご購読されていれば誰でも加入可能です。

**み・まも～る プラスとは**  
中日新聞の無料、読者安否確認サービス「み・まも～る」に  
加え、日々の生活の「お困りごと」を解決する相談窓口を  
開設しました。それが「み・まも～るプラス」(有料サービス)

**お近くの中日新聞販売店にご相談ください!!**

買い物支援  
こんなこと  
できるかな?  
お困せも  
大歓迎!

生活支援  
作業支援

お問い合わせ  
相談窓口

お近くの 中日新聞販売店  
み・まも～るプラス多治見  
ちょこっと  
「まごころサポート」

**中日新聞 佐伯新聞店**  
TEL0573-26-1345 (土日祝除く10:00~16:00)

恵那地区中日新聞販売店会

## 地域支援体制 (エコシステム)

**中日新聞販売店が  
購読者のみなさまの暮らしをサポートします！**

**み・まも～るプラス  
ちょこっと  
「まごころサポート」**

日々の暮らしの  
お困りごと  
日々の暮らしの  
お困りごと

新聞販売店がはじめる!暮らしの中のお困りごと相談、  
まごころちょこっとサポートは、  
**安心のチケット制**です。

\*サポートのご利用は、事前にチケットをご購入ください  
1シート 3,000円(300円×10枚)  
困りごと相談は、販売スタッフが販売店にお申し付けください。  
お試しチケット 1シート 1,500円(300円×5枚)もございます。

**まごころちょこっとサポートの内容は、**

- 具体的には、「買い物同行・代行」「ゴミ出し」「ゴミ捨て」「電球・器具取替」、  
「家具の移動」、「各種書類の提出・受取」、「怠拭き」、「庭掃除」など
- 上記以外の内容でもお気軽に相談ください。

\*ご相談内容によっては、専門家に  
委託する場合がございます(料金は別途相談)

**ご利用の流れ**

- ①お電話でサポート内容を  
お知らせください
- ②スタッフが、サポート内容と料金、  
訪問日時をご確認します
- ③スタッフが、ご自宅に向って  
ご対応いたします
- ④サポート終了後、  
時間相当分のチケットをいただきます

**利用料の目安**

時間	時間	チケット
~12分	300円	1枚
~24分	600円	2枚
~36分	900円	3枚
~48分	1,200円	4枚
~60分	1,500円	5枚

\*60分以降も12分毎にチケットが追加となります

チケット購入に関する  
お問い合わせ

中日新聞 佐伯新聞店 TEL0573-26-1345  
まごころちょこっとサポート TEL070-4497-0111

いずれも 土日祝除く  
10:00~16:00

中日新聞購読者さん+市民の皆さんのお困りごと情報を、  
コミュニティ形成の場に集めてサポートする新規事業です。

# 多治見商工会議所様へご提案

共創から生まれる  
「長生きを喜べる社会」の実現に向けて

中日新聞販売店の配達ネットワークを活かした  
高齢化社会に対応する新サービス



スーパー・マーケット+新聞販売店とのコラボで  
持続可能な地域社会を  
バリューチェーン「価値の連鎖」と  
サプライチェーン「供給の連鎖」の組み合わせ



全国のモデルとなる仕組み構築を  
多治見でチャレンジ

中日新聞多治見販売店会  
むすびGroup

# なぜ今、新しい“まちづくり”が必要か？

(コミュニティ形成の場)

## ICTでむすぶまちづくり研究所

なぜ！ エコシステムなのか！

ICTでむすぶまちづくり研究所  
所長（犬山祭保存会会長）石田芳弘



長生きを喜べる社会をつくるためには、相互扶助が生まれるコミュニティが必要だと考えます。

インターネットという破壊的なイノベーションによる生活様式の変化は、超高齢社会に多くの課題を生み出しました。それが、無縁社会と言う社会現象です。

「祭り」は「相互扶助：共存共栄」の原点。  
共同体システム＝エコシステムは、「共感や絆、思いやりという共同体の助け合いの原理が埋め込まれている」から、現代社会における役割があり「保存するだけでなく、地域社会のために役立たせるべきだ」と考えています。

私たちは誰もが、「長生きを喜べる」地域社会を目指して、「持続可能」な、新しいまちづくりを進めるためには「相互扶助：共存共栄」が生まれる“まちづくり”が必要だと考え活動を進めています。

私は「長生きを喜べる社会」という言葉が好きです。

ICTでむすぶまちづくり研究所 顧問  
国立長寿医療研究センター 名誉総長 大島伸一



この言葉は、小泉元首相が二期目の所信表明演説で使用された言葉です。小泉首相は「長生きを喜べる社会」とはどんな社会なのか、その時もその後も詳しく触れることなく政権を終え、私には不満でしたが、実際にはその答えは当時も今も誰も解っていないというのが正解でしょう。

日本に生まれ育ち、そして老い死んでゆく、より多くの方が人生を終えるときに、いろいろあったが「長生きしてよかった」と言えるような社会とはどんな社会なのか。

こんな思いを叶える事が出来る、新たな“まちづくり”を、新たなテクノロジーと、福祉関係者との連携で、産・官・学を巻き込んで、地域ごとで「相互扶助：共存共栄」の自立できる支援体制をつくることで、叶えられると思っています。

持続可能な地域社会は、多様な関係者のみな様のご協力と相互連携の体制、新たな取組でご自身の強みを発揮していただき、地域支援活動などの費用を応分のご負担でお願いすることができれば、持続可能なコミュニティが生れると思っています。



※テクノロジーの活用とは、インターネットという破壊的なイノベーションによる生活の変化を、インターネットを使って、パソコンやスマートホンなどの情報通信機器を用いて新たなコミュニケーション（生活）を実現する仕組みです。

# 新聞販売店の新規事業



新聞販売店は、ラストワンマイルの支援体制(地域に密着した強固なネットワーク)と、高齢化社会における「見守り機能」という重要な役割を担っています。



今までの  
新聞販売店は？

既存事業は？  
情報を伝える

新規事業  
購読者減

顧客→購読者

これからの  
新聞販売店は？

新規事業の支援体制  
情報をむすぶ  
困りごとの「窓口」

+  
新規顧客  
困りごと(新規ニーズ)



買い物支援  
スーパー・マーケット  
連携で  
新規顧客との  
繋がり



作業支援

介護施設や、まちづくりNPOなどとの連携で  
(複合的事業1) と (複合的事業2)  
(別紙)

生活支援  
お困りごとの  
解決

ちょこっと  
まごころ サポート

見守り支援

①新規購読者を獲得  
見守り新聞配達サービスで  
独り暮らしをサポート

②月額利用料 (サブスク)  
IoTデバイス (センサーなど)  
独り暮らしの見守り

産直通販

③購読者の皆さんへ、産直やパートナー企業さんのなどの商品の紹介…顧客との繋がりを増やす  
(パートナー事業者さんとのコラボ企画も可能)

ビッグデータ活用

※ご利用情報は、顧客の依頼履歴を管理することで、  
高齢化社会の(QOL)改善等に役立てる事が目的

むすびさぽーとCLUBは、困りごとの「地産地消」で  
地元の皆さんと一緒に「地域の課題」を解決する  
「循環型エコシステム」です。

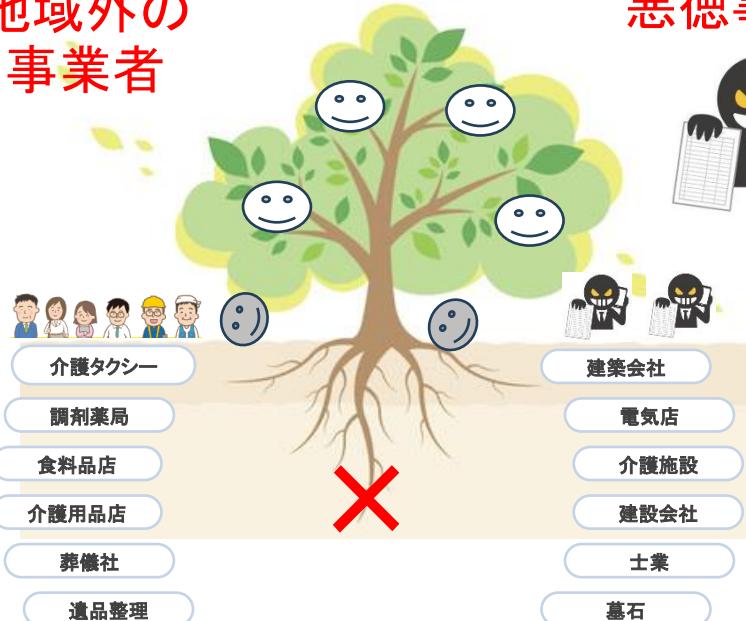
### エコシステム(相互扶助の支援の仕組み)とは?

本来は自然界の「生態系」を意味する言葉で、生物が互いに依存し合いながら共存する仕組みのことです。ビジネスやITの分野では、企業、製品、サービスなどが相互に連携し、大きなネットワークを形成することで新たな価値や収益を生み出す仕組みを指します。

経済を中でまわし  
三方よしの  
恵那を築く

漏れバケツ理論  
(地域経済におけるお金の流出)の対策  
対策ナシ(循環しない)

地域外の  
事業者



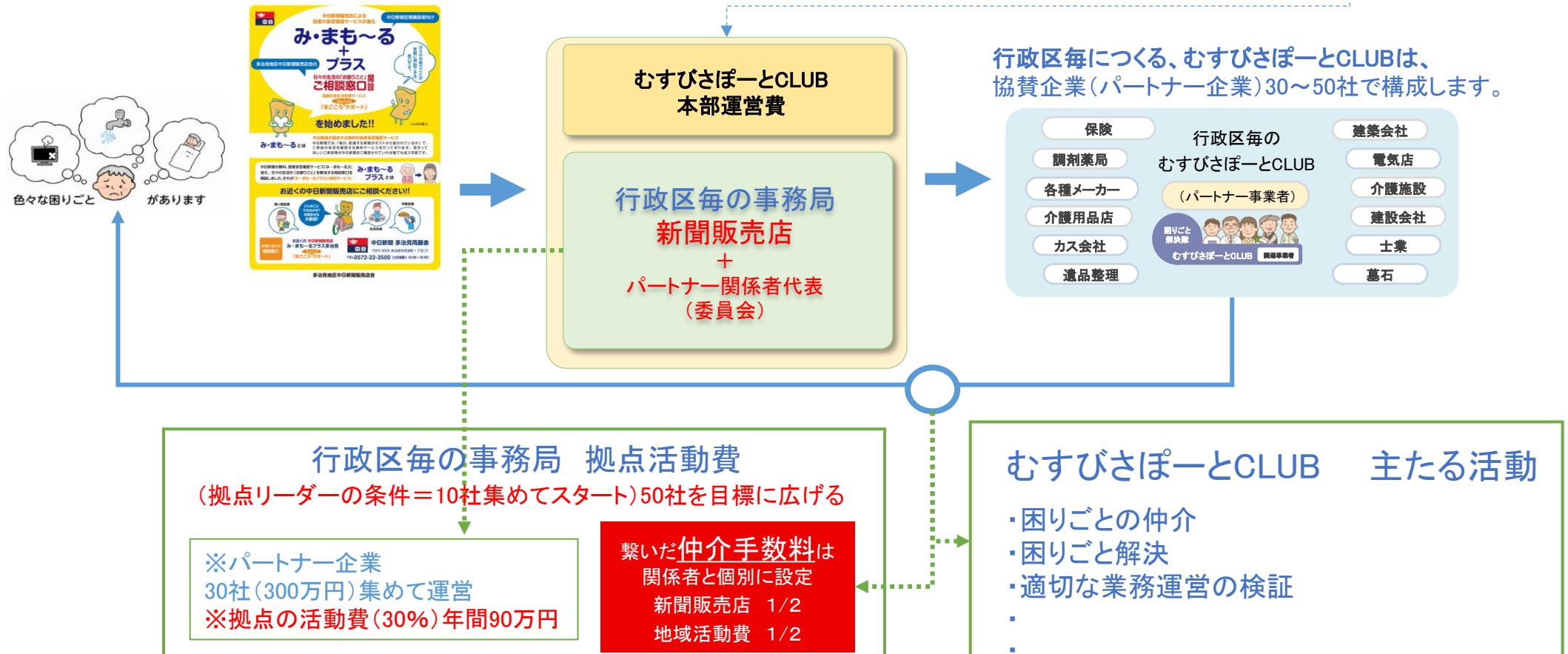
悪徳事業者



「循環型エコシステム」



# 地域の課題を地域内で解決する 循環型エコシステム





# エコシステムは、Win Winの関係 パートナー関係者の皆さんのメリットは？

SDGs(持続可能な開発目標)の理念  
「誰一人取り残さない」  
地域支援の体制をつくります。

メリット  
1

パートナー関係者のみなさんは、  
優先的に地域の課題解決に取り組んで  
頂きます。(新規収益事業の可能性)

メリット  
2

地域活動を市民の皆さんにアナウンス  
①「チラシを配布する」(年4回を予定)  
②「のぼり設置」関連機関や店舗に配置

メリット  
3

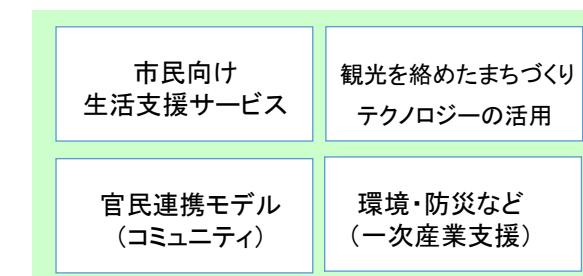
産官学連携の支援体制(困りごとの「地産地消」)  
の構築で、地域外の事業者との差別化

メリット  
4

CSR(企業の社会的責任)活動に  
ご協賛して頂いた費用は、会計上  
広告宣伝費や、寄付金、諸会費など  
経費としての処理も可能です。  
なにより、地域への貢献は、  
従業員のご家族や、ご近所の  
皆さんの支援などにも繋がります。



メリット  
5~



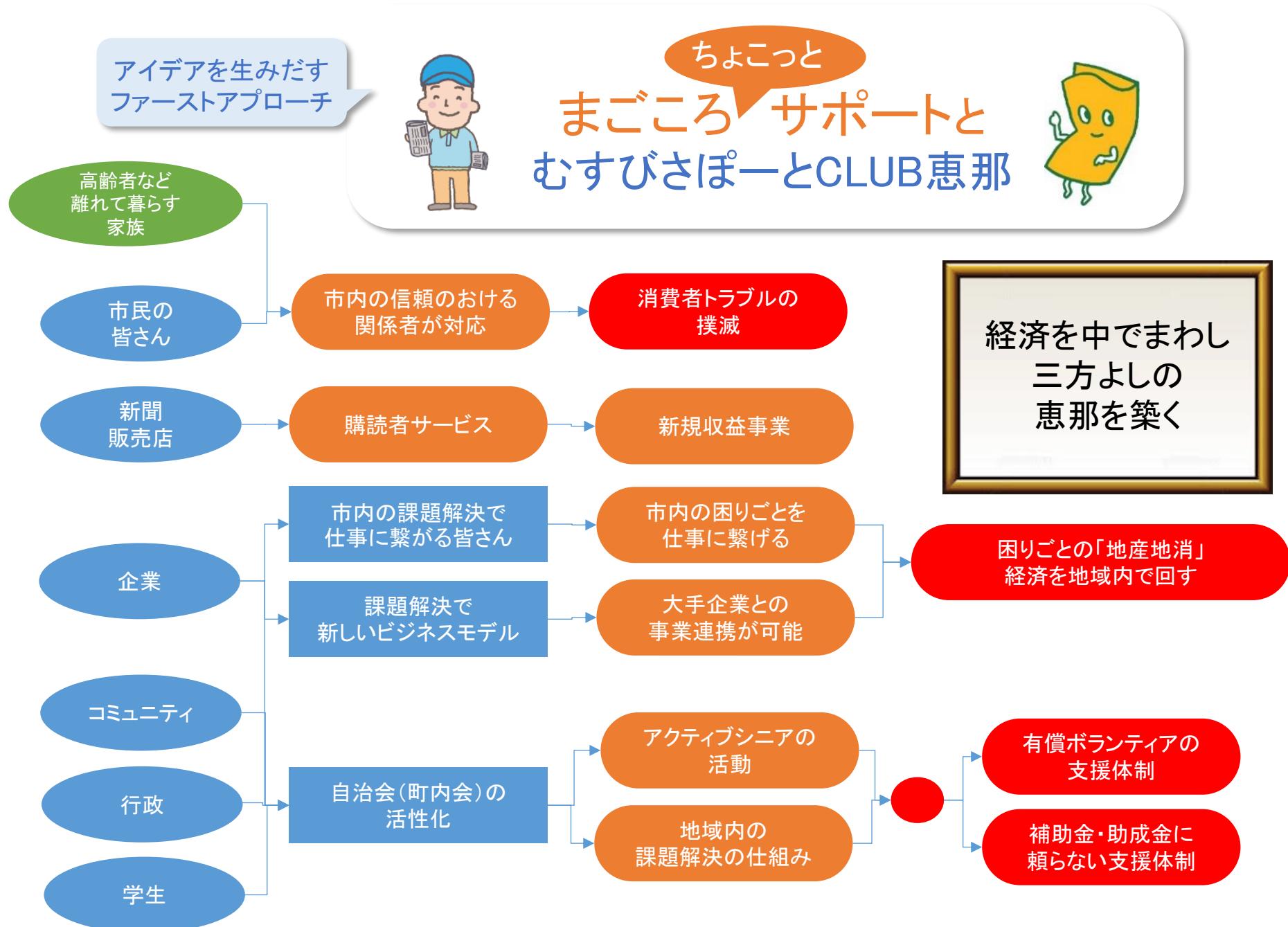
新聞は、  
学習や思考の深化につながる

☞未来の子供たちを育てる…  
あかるい未来の日本を創る

•NIE※(教育に新聞を)活動を通じて、  
子供たちの社会への関心を高め、  
課題解決に向けた行動力を育みます。



# 産・官・学連携で生まれる地域支援プラットホーム



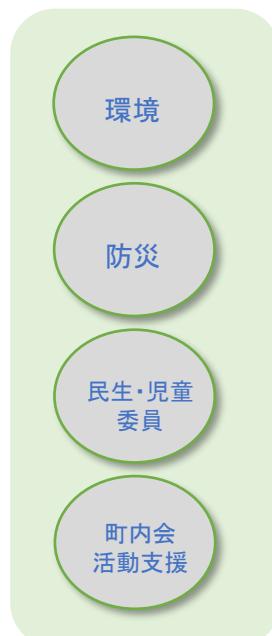
# ビッグデータとDXが変える地方創生

ちょこっと

まごころ サポートは、中日新聞販売店の購読者支援サービスです  
むすびさぽーとCLUBは、みんなで「地域の課題」を解決するエコシステムです

※エコシステム（相互扶助の支援の仕組み）  
別紙、事業説明でご案内

公的関係者単独ではできない  
支援体制を  
産官学連携でつくる



環境保全

行政との連携

地域への  
貢献

まごころ サポート  
コミュニティ形成の場

ビッグデータの  
活用

地域経済への  
貢献  
(経済を地域内で回す)

生活インフラとしての  
機能

ちょこっと

情報の  
「循環型社会」

地域の支援体制から生まれる  
ビッグデータは  
アイデアを生みだす情報源



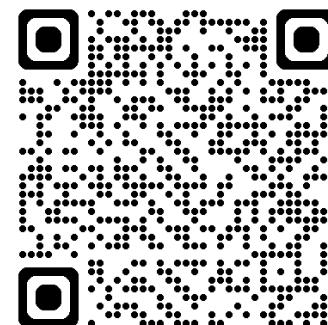
ビッグデータ活用による  
新サービスの創造と新事業創生  
地域への貢献

# むすびGroup 活動の思い

## 地方を救う ビジネスの視点を取り入れた「まちづくり」 私たちの地域から、一緒に創りませんか？

- **むすびGroupが考える地方創生プロジェクト**は、どこかのイチ組織が頑張るだけでは地域の課題解決は難しいと言われるから、新しい地域の力タチを創ろうと集まった専門家集団が、地域のみんなが参加できる、相互扶助の支援体制(むすびさぽーとCLUB)を進めます。
- 「ICTでむすぶまちづくり研究所」は、安心・安全なまちづくりを推進するために、各分野(医療・福祉・通信分野)の有識者でICT(センサーなど)の有効活用とDXの推進で相互扶助(互酬)のまちづくりを進めます。
- **むすびさぽーとCLUB**は、「ICTでむすぶまちづくり研究会」の行動指針を、行政区ごとに展開する活動組織です。

- お問い合わせ先:むすびGroup
- ICTでむすぶまちづくり研究所  
(合同会社むすびdesign内)
- ☎ 052-930-0055
- 名古屋市東区葵三丁目1-23-3
- 🌐 <https://ict-machidukuri.org/>
- むすびさぽーとclub 本部
- ☎ 070-4497-0111
- 恵那市三郷町野井2106番地2



 むすびdesign



# 概要説明の リーフレット(案)

行政区毎の活動(CLUB名刺)

 「地域をむすび」未来をつくる拠点づくり  
**むすびサポートCLUB**  
恵那

まちづくりコーディネーター  
**三宅 直也**  
HP 090-3255-4009  
mail: miyake@musubi-group.org

**むすびサポートCLUB 恵那**  
〒509-7123 岐阜県恵那市三郷町野井2106番地2  
HP 070-4497-0111  
mail: info@musubi-group.org

**むすびサポートCLUB (本部)**  
〒509-7123 岐阜県恵那市三郷町野井2106番地2  
HP 070-4497-0111  
mail: info@musubi-group.org

[musubi-group.org](http://musubi-group.org) 

中日新聞販売店とむすび Group が始める  
高齢社会に対応する新サービス

日々の生活の「お困りごと」  
だれに相談していいかわからない?  
安心して相談できる「お困りごと窓口」  
はじめります

   
**むすびGroup**



「地域をむすび」未来をつくる拠点づくり



## むすびさぽーと CLUB

中日新聞販売店とむすびGroupが始める  
高齢社会に対応する新サービス



### ちょこっと まごころ サポートと むすびさぽーとCLUB

市内のおこまりごと解決は  
地域のみなさんの共助で！  
コミュニティ形成の場をつくり  
て地域経済への貢献の仕組みをつくります

産・官・学連携で生まれる地域支援プラットホーム



むすびさぽーとCLUBが目指す  
「地域支援プラットフォーム」は

地域貢献活動は、  
無償のボランティアでは難しい時代になったから  
地域活動に対して適正な対価(収入)が生れる仕組みをつくります

市民の皆さん自らが、まちづくりに参加することで  
「自分たちの望む暮らしやすいまち」が実現し、  
結果としてQOLの向上につながるまちづくりを進めます



●むすびGroupが考える地方創生プロジェクトは、どこかのイチ組織が頑張るだけでは地域の課題解決は難しいと言われるから、新しい地域のカタチを創ろうと集まった専門家集団が、地域のみんなが参加できる、相互扶助の支援体制(むすびさぽーとCLUB)を進めます。

●ICTでむすぶまちづくり研究所は、安心・安全なまちづくりを推進するために、各分野(医療・福祉・経済・通信分野)の有識者で構成しています。ICT・アクティビシニア(人財)の有効活用とDXの推進で、相互扶助(互酬)のまちづくりを進めます。

●むすびさぽーとCLUBは、「ICTでむすぶまちづくり研究会」の行動指針を、行政区ごとに展開する活動組織です。

行政区毎の支援体制、むすびさぽーとCLUB  
一緒に支援体制をつくりませんか？

- お問い合わせ先:むすびGroup
- ICTでむすぶまちづくり研究所  
(合同会社むすびdesign内)
- TEL 052-930-0055
- 名古屋市東区葵三丁目1-23-3
- <https://ict-machidukuri.org/>
- むすびさぽーとCLUB 本部
- TEL 070-4497-0111
- 恵那市三郷町野井2106番地2



各まちに  
日々の生活の「困りごと」  
相談窓口開設！



# 中日新聞販売店とむすびGroupが始める 高齢社会に対応する新サービス

## 中日新聞販売店が考える地域創生



**むすびさぽーとCLUBは、  
困りごとを、地元の皆さんと一緒に解決する  
循環型エコシステムです。**

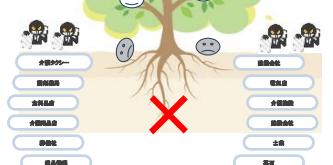
### スエコシテム(相互扶助の支援の仕組み)とは?

本来は自然界の「生態系」を意味する言葉で、生物が互いに依存し合いながら共存する仕組みのことです。ビジネスやITの分野では、企業、製品、サービスなどが相互に連携し、大きなネットワークを形成することで新たな価値や収益を生み出す仕組みを指します。

漏れバケツ理論  
(地域経済におけるお金の流出)の対策

**対策ナシ(循環しない)**

地域外の  
事業者



ちよこっと  
まごころ サポートと  
むすびさぽーとCLUB



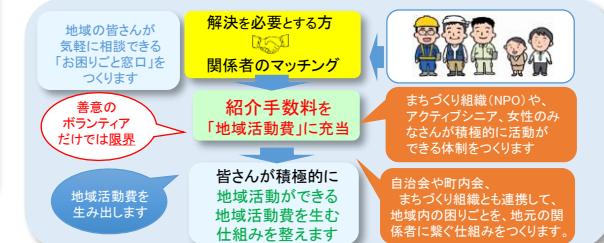
超高齢社会は?

地域住民が「いつまでも自分らしく、安心して暮らし続けられる」ことを支える組織が求められます。  
そのために必要なこと?

1. 「生活支援」と「互助」の機能
2. 「見守り」と「安心」の機能
3. 「健康維持」と「介護予防」の機能
4. 「共助」と「防災」の機能

むすびさぽーとCLUBの活動は  
みんなで困りごとを、地元の関係者が  
解決するエコシステムです。

地域支援活動を進めるには、「活動費」が必要です。  
行政区内のパートナー事業者に皆さんに  
活動費をご支援「ご協賛」いただき、地域活動を進めます。  
お仕事が繋がった時の「仲介手数料」も  
地域活動費として運用します。



お困りごとの「地産地消」で  
経済を「地域内で回す」しくみ  
それが、エコシステムです

渋沢栄一  
論語(哲学)と  
算盤(商売)  
それが、エコシステム  
(相互扶助)



地域経済への貢献の仕組みをつくります

市内の「困りごと」は、市内の関係者で解決  
ご支援いただいた関係者の皆さんと一緒に  
お困りごとを解決をお願いします

SDGs(持続可能な開発目標)の理念  
「誰一人取り残さない」  
地域支援の体制をつくります。

「地域をむすび」未来をつくる  
拠点づくり



経済を中でまわし  
三方よしの  
恵那を築く